

講演会

高機能自閉症・アスペルガー症候群の 当事者の自己権利擁護と 「障害」の表明

*Asperger
High Functioning Autism*

人間科学研究所主催のシンポジウム「高機能自閉症児およびアスペルガー症候群児の早期発見と早期対応」(2006年12月9日)に続き、成人期の課題を扱う企画として上記講演会を開催致します。今回は特に、高機能自閉症・アスペルガー症候群の当事者の活動に焦点をあてた講演会です。

PROGRAM

午前の部 (10:00～12:00) 定員 150名

■親と教師のための講演会
「壁のむこう」からのメッセージを聴く
—学校で高機能自閉症児および
アスペルガー症候群児をどう援助するか—

午前の部は、主として学校、施設、保護者などを対象に行います。就学前から、小学校、中学校時代のことをスティーブン・ショア博士ご自身の体験を交えて話していただく予定です。自閉症・アスペルガー当事者の「声」に耳を傾けつつ教育や発達支援のすすめ方を考える機会になることを期待しています。

*講演は主に英語で行われますが、逐次通訳が入ります。

午後の部 (13:30～15:30) 定員 150名

■高機能自閉症・アスペルガー症候群の
当事者および発達支援関係者のための講演会
高機能自閉症・アスペルガー症候群の
当事者の自己権利擁護と「障害」の表明
—スティーブン・ショア博士を招いて—

午後の部は、スティーブン・ショア博士らが近年力をいれて取り組んでいる、アドボカシ(自己権利擁護)活動について話をしていただく予定です。自己権利擁護をすすめていく上では「障害」の表明ということが欠かせませんが、これらが学校、職場、地域でどのように取り組まれているのか、またアメリカにおける当事者活動についても語っていただく予定です。

講演：スティーブン・ショア博士

全米自閉症協会会員、ニューイングランド
アスペルガー協会理事長、教育学博士

コーディネーター：荒木穂積

立命館大学産業社会学部・
同大学院応用人間科学研究科教授

日時 2007年1月14日(日) 10:00～15:30
終了予定

場所 立命館大学国際平和ミュージアム
1F 中野記念ホール 京都市北区等持院北町56-1

参加人数 午前150名、午後150名(事前予約制)
下記申込先のホームページ上の予約フォームまたはFAXでお申し込みください。

参加費 有料 午前の部のみ 1,000円、午後の部のみ 1,000円、終日 1,500円

申込先 立命館大学人間科学研究所
事務局 TEL: 075-465-8358 FAX: 075-465-8245
http://www.ritsumei.ac.jp/acd/re/k-rsc/hs/hs_index.htm

主催 立命館大学人間科学研究所
(財)田中教育研究所
(株)クリエイツかもがわ

